

意識を採る

患者1000人アンケート分析

協力=病院の通信簿
 調査期間 2010年2月26日～3月9日
 調査方法 病院の通信簿の会員を対象に
 インターネット上で実施(匿名)
 回答者数 1,146人(男583人、女563人)

Q1. 病院と診療所の違いを知っていますか？

Yes
474人

No
669人

Q3. 診療所より病院のほうが安心と答えた理由
 (複数回答あり：回答数990人)

医師の技術が高い 255人
 入院施設がある 136人
 医師の数が多い 107人
 医療機器など設備が整っている 375人
 規模が大きい 117人

Q4. Q2でNOと答えた理由
 (複数回答あり：回答数1,189人)

病院と診療所で医師の技術は変わらない 285人
 診療所を受診していて安心だから 175人
 なんとなく 729人

Q2. 診療所より病院を受診するほうが安心と感じたことがありますか？

Yes
558人

No
563人

半数が病院のほうが安心と回答
 コンビニ受診を戒める意見も

Q1で、病院と診療所の違いを知らない患者が約6割にのぼった。インターネット上の医療機関検索・評価サイト「病院の通信簿」を運営する株式会社フイードバック・ジャパンの敷敷健治代表取締役は「当社をご利用する方は30～40歳代が多いため、実際にはもつと多くの患者が理解していない可能性があると思います」と言う。

診療所より病院を受診したほうが安心と答えた患者は約半数で、理由として設備の充実や医師の技術の高さを挙げた患者が多かった。一方で、診療所も病院も安心感に変わらないと答えた患者の約6割は「なんとなく」がその理由だった。

自由回答欄を見ると、病院支持派の患者は「検査結果が検査当日に判明する」、「診療料がわからない場合は、院内でスムーズに移動できる」など利便性を強調。根拠はないものの、「診療所は医師が勉強をしない」、「診療所は院長1人の判断が絶対で、病院は医師同士が議

論する環境がある」と答えた患者もいた。

診療所支持派は「気軽に相談できる」、「待ち時間が病院より短い」、「細かい点まで診てもらえる」、「かかりつけなので、体の状態を良く知っている」などの回答が多い。

また、コンビニ受診を戒める意見も複数あった。「症状に応じて病院と診療所を使い分けるべき」、「診療所と病院の連携が図られていることは理解している。入り口としては診療所で十分」、「そもそも、病院は専門的な治療が必要な重症患者が行く機関で、症状の軽い人は診療所を受診すべきだ」と主張する患者もおり、病院と診療所の役割分担の理解が進んでいる様子が見えられた。

◆病院の通信簿とは
 会員数28万人、1日平均アクセス数2万件を誇るマンモスサイト。匿名の患者アンケートから待ち時間、医師の印象、看護師の態度、待合室の快適度など、医療機関を15項目ごとに5段階評価し、「リーダーチャート」にまとめてネット上に掲載。日本人になじみの深い通信簿形式で注目を集める。
<http://www.tushinbo.com/>